

西東京市市政モニター 令和3年度第1回調査結果

●テーマ

「ごみ・資源物の収集」について

●調査目的

：令和3年度に一般廃棄物処理基本計画の改定を予定しており、計画の取組内容を検討等するうえで、市民の意見を伺う必要があるため。

●実施期間

：令和3年5月25日～令和3年6月15日

●登録者数

：100人

●回答者数

：84人(回答率84%)

※割合の表示については、設問に応じて分母が異なること(回答者数又は全回答数)や、少数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

※自由記述や「その他」の回答については、一部表現を修正・抜粋しています。

令和3年7月



「いこいな」
©シンエイ/西東京市



西東京市 企画部 秘書広報課

目次

西東京市市政モニター回答者及び登録者の属性	1
問1 お住まいの状況に一番近いものを選んでください。	2
問2 ごみを減らすための取組の一つとして、4R「Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)、Refuse(リフューズ)」という取組があります。 この取組について、知っていましたか。	3
問3 各自治体で排出されたごみは、中間処理施設で処理された後、焼却灰については最終処分場でリサイクル等(エコセメント化)の処理がされています。 このことを知っていましたか。	4
問4 ごみの減量や資源化のために自治体に求めることは何ですか。	5
問5 日頃からどのようなごみの減量・資源化活動に取り組んでいますか。	7
問6 問5で「③特に取り組んでいない」を選んだ方は、その理由を1つ選んでください。	9
問7 お住まいの自治体の現在のごみや資源物の分別・収集方法について、どのように感じますか。	9
問8 問7で「③やや不満がある」「④不満がある」を選んだ方にお聞きします。 不満な点を1つ選んでください。	10
問9 ごみの分別や出し方等の情報をどのような方法で入手していますか。主な方法を3つ選んでください。	11
問10 西東京市では、ごみの減量・資源化を促進するため、一部の家庭ごみを市の指定収集袋で収集しています。 (家庭ごみ有料化) 具体的には次のような効果・影響が挙げられますが、より重要だと思うものを3つ選んでください。	12
問11 粗大ごみの処分方法として、最も多く利用しているのはどれですか。	14
問12 プラスチック容器包装類の処分方法として、最も多く利用しているのはどれですか。	15
問13 新聞などの紙類の処分方法として、最も多く利用しているのはどれですか。	16
問14 ペットボトルの処分方法として、最も多く利用されているのはどれですか。	17
問15 レジ袋の有料化に伴い、買い物に変化はありましたか。	18
問16 日本では、1日1人当たり「茶碗1杯のご飯」分の食品ロスが出ており、より一層の工夫が必要な状況です。食品ロス(食品の廃棄)を無くすために、どのような工夫をしていますか。	19
問17 ご自身でごみの分別はどの程度できていると思いますか。	20
問18 その他、ご意見がありましたらご自由に記入ください。	21
問19 令和元年10月から、びんや缶の収集回数が少なくなりましたが、処分方法にどのような変化がありましたか。	22
問20 令和元年10月から、紙類の収集回数が少なくなりましたが、処分方法にどのような変化がありましたか。	23
問21 令和元年10月から実施された資源物戸別収集により、資源物の出し方はどう変わりましたか。	24
問22 西東京市では、市内各地域でごみの減量の啓発・資源化の促進、ごみの出し方や分別指導など、市の行う施策にご協力いただく廃棄物減量等推進員を募集していますが、知っていますか。	25
問23 西東京市では、街の美化の推進や市民の安全確保を図るための「環境美化活動」を行っており、おもにごみのポイ捨て防止やたばこの路上喫煙マナー向上のための取組を行っています。知っていますか。	26

<令和3年度第1回調査 回答者の属性>

全体		(人)			(%)
		男性	女性	合計	回答割合
		42	42	84	84.0
年代	18~29歳	6	5	11	55.0
	30~39歳	9	9	18	90.0
	40~49歳	9	9	18	85.7
	50~59歳	9	9	18	94.7
	60歳~	9	10	19	95.0
地域	北東部	10	8	18	85.7
	中部	7	11	18	90.0
	西部	11	10	21	91.3
	南部	10	11	21	87.5
	市外(市内在勤・在学)	4	2	6	50.0

※年代・地域は令和2年12月時点の情報を反映しています。

・北東部…ひばりが丘北・北町・栄町・下保谷・東町・中町・富士町

・中部…北原町・泉町・住吉町・田無町・保谷町

・西部…緑町・谷戸町・ひばりが丘・西原町・芝久保町

・南部…南町・向台町・新町・柳沢・東伏見

<市政モニター登録者の属性>

全体		(人)			(%)
		男性	女性	合計	割合
		50	50	100	
年代	18~29歳	11	9	20	20.0
	30~39歳	9	11	20	20.0
	40~49歳	11	10	21	21.0
	50~59歳	9	10	19	19.0
	60歳~	10	10	20	20.0
地域	北東部	12	9	21	21.0
	中部	8	12	20	20.0
	西部	11	12	23	23.0
	南部	12	12	24	24.0
	市外(市内在勤・在学)	7	5	12	12.0

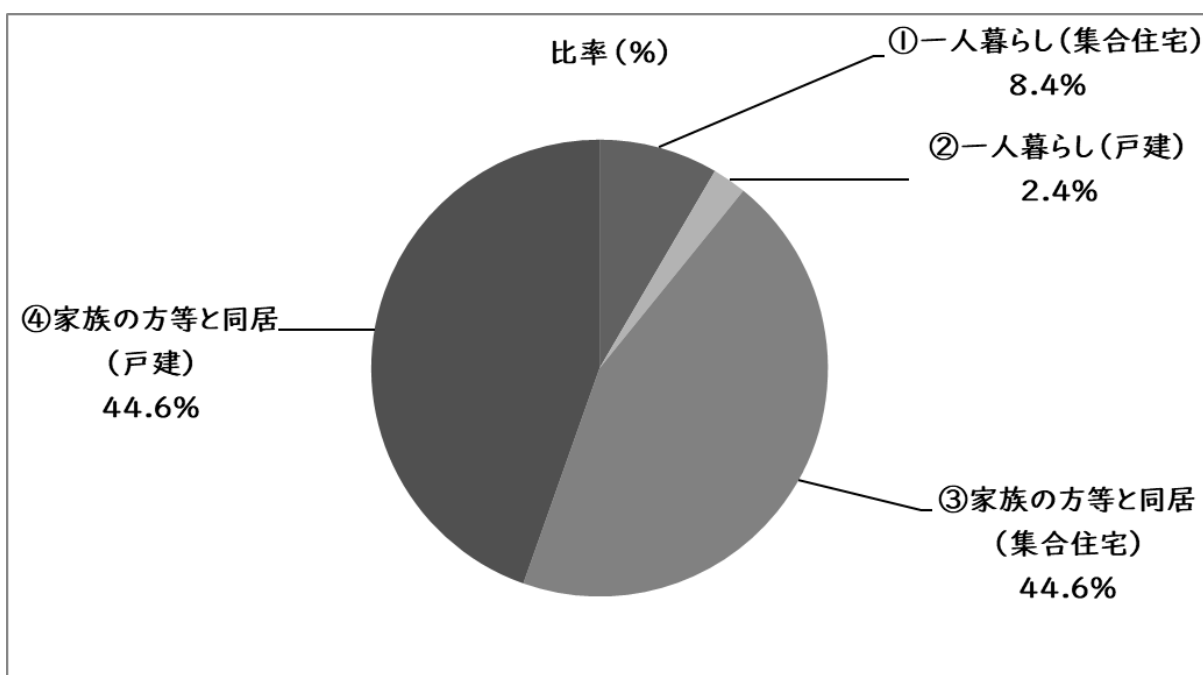
問1 お住まいの状況に一番近いものを選んでください。

「家族の方等と同居(集合住宅) 37 件(44.6%)」と「家族の方等と同居(戸建) 37 件(44.6%)」が同率で多く、一人暮らしの方は「集合住宅」と「戸建」を合わせて 10.8%という結果となりました。

回答者数(人) 83

回答件数(件) 83

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①一人暮らし(集合住宅)	7	8.4	3
②一人暮らし(戸建)	2	2.4	4
③家族の方等と同居(集合住宅)	37	44.6	1
④家族の方等と同居(戸建)	37	44.6	1



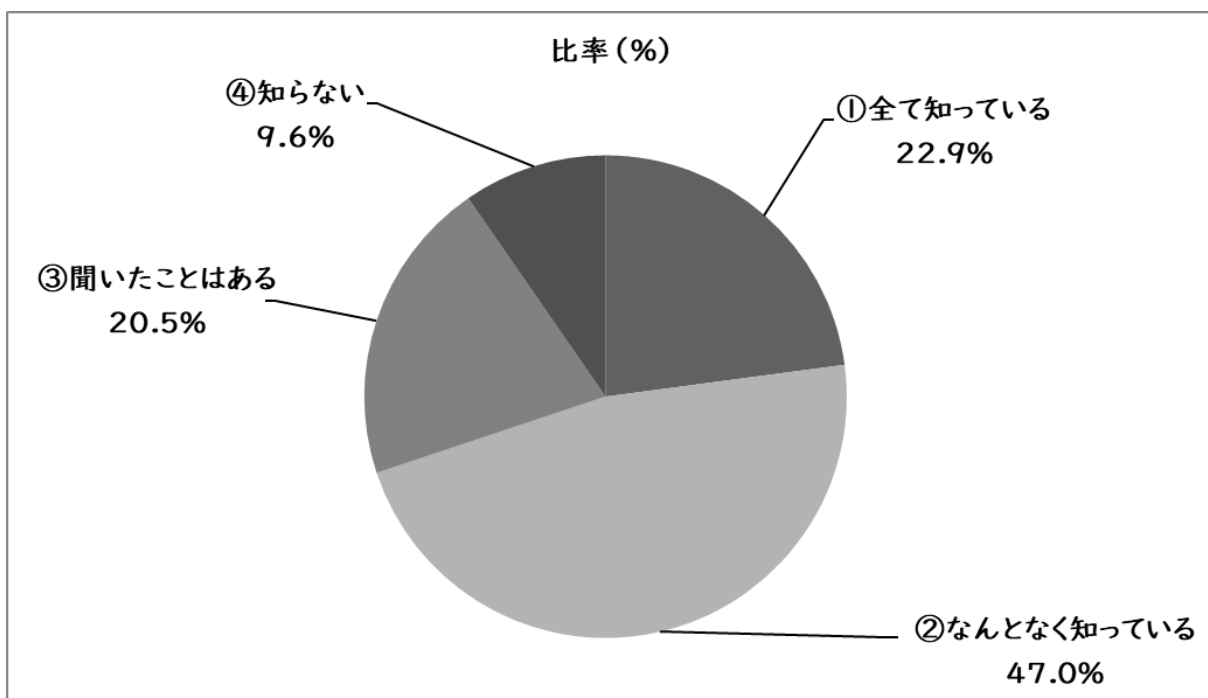
問2 ごみを減らすための取組の一つとして、4R「Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)、Refuse(リフューズ)」という取組があります。
この取組について、知っていましたか。

「なんとなく知っている 39 件(47.0%)」が最も多く、「全て知っている 19 件(22.9%)」が次に多い結果となり、「知っている」と答えた方が約 70%となりました。

回答者数(人) 83

回答件数(件) 83

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①全て知っている	19	22.9	2
②なんとなく知っている	39	47.0	1
③聞いたことはある	17	20.5	3
④知らない	8	9.6	4



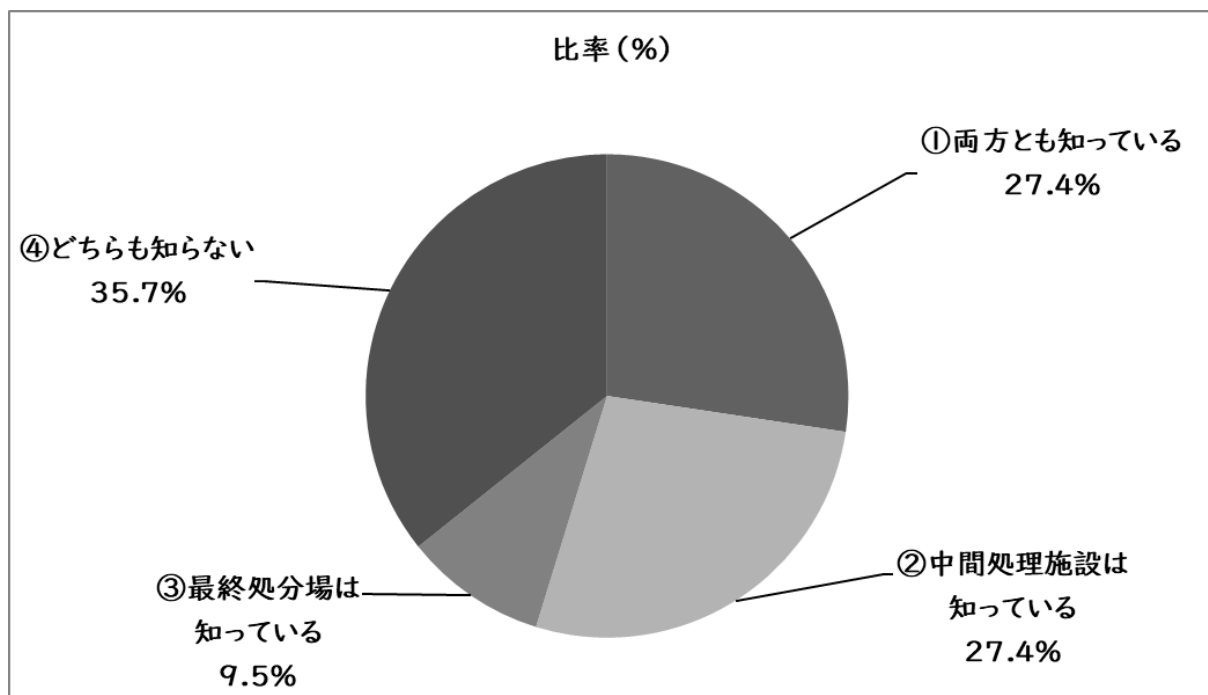
問3 各自治体で排出されたごみは、中間処理施設で処理された後、焼却灰については最終処分場でリサイクル等(エコセメント化)の処理がされています。
このことを知っていましたか。

「どちらも知らない 30 件(35.7%)」が最も多く、「両方とも知っている 23 件(27.4%)」と「中間処理施設は知っている 23 件(27.4%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 84

回答件数(件) 84

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①両方とも知っている	23	27.4	2
②中間処理施設は知っている	23	27.4	2
③最終処分場は知っている	8	9.5	4
④どちらも知らない	30	35.7	1

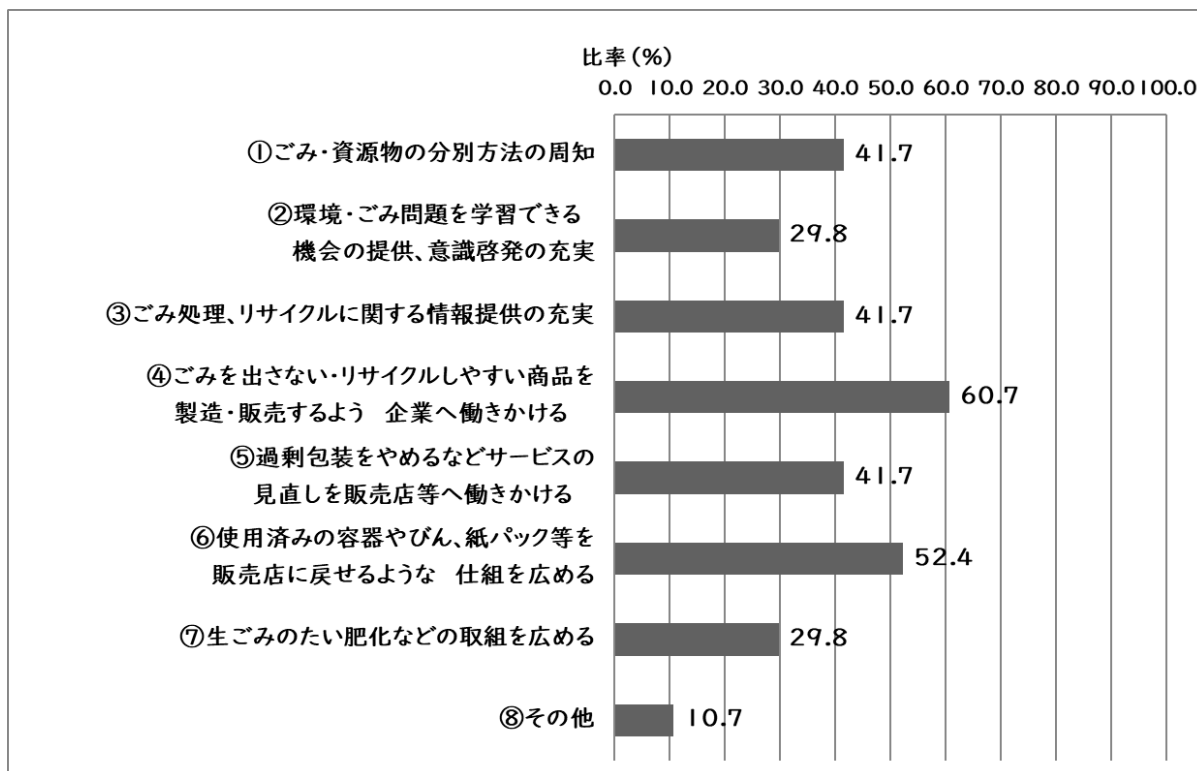


問4 ごみの減量や資源化のために自治体に求めることは何ですか。
次の中から3つ選んでください。

「ごみを出さない・リサイクルしやすい商品を製造・販売するよう企業へ働きかける 51 件 (60.7%)」が最も多く、「使用済みの容器やびん、紙パック等を販売店に戻せるような仕組みを広める 44 件 (52.4%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 84
回答件数(件) 259

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①ごみ・資源物の分別方法の周知	35	41.7	3
②環境・ごみ問題を学習できる機会の提供、意識啓発の充実	25	29.8	6
③ごみ処理、リサイクルに関する情報提供の充実	35	41.7	3
④ごみを出さない・リサイクルしやすい商品を製造・販売するよう企業へ働きかける	51	60.7	1
⑤過剰包装をやめるなどサービスの見直しを販売店等へ働きかける	35	41.7	3
⑥使用済みの容器やびん、紙パック等を販売店に戻せるような仕組みを広める	44	52.4	2
⑦生ごみのたい肥化などの取組を広める	25	29.8	6
⑧その他	9	10.7	8



【⑧その他】

- ごみ分別アプリの検索機能を使いやすくしてほしい。
- 分別を廃止してほしい。本当に分別されて焼却されているのか定かでない。
- デポジット制を取入れる。
※デポジット制…製品価格に「デポジット(預託金)」を上乗せして販売し、製品や容器の返却時に預託金を返却することにより回収を促進する制度
- 時々びんや缶の収集漏れがあり、仕事から帰宅するまで出っぱなしになっていることがあります。
- スーパーなどに食品の小売りを促進するような取り組みは有効かと思います。
一人暮らしでも食べきれぬ量だけ買いやすい売り方が主流になるとうれしいです。
- 生ゴミの袋の中にカップ麺の器、洗剤の容器等が入っているのを見かける。
- ゴミの細分化が行き過ぎて市の財源をひっ迫させる元になってしまうので、渋谷区や練馬区のように火力の強いゴミ処理場を作り極力少ない灰にした方が無駄が出難いと思います。
- リサイクル等への課金又はポイント付与システムをスマホと連携させる。
- リサイクルのコスト(金額/CO2 排出量)
- ゴミを出しやすくなる。

問5 日頃からどのようなごみの減量・資源化活動に取り組んでいますか。

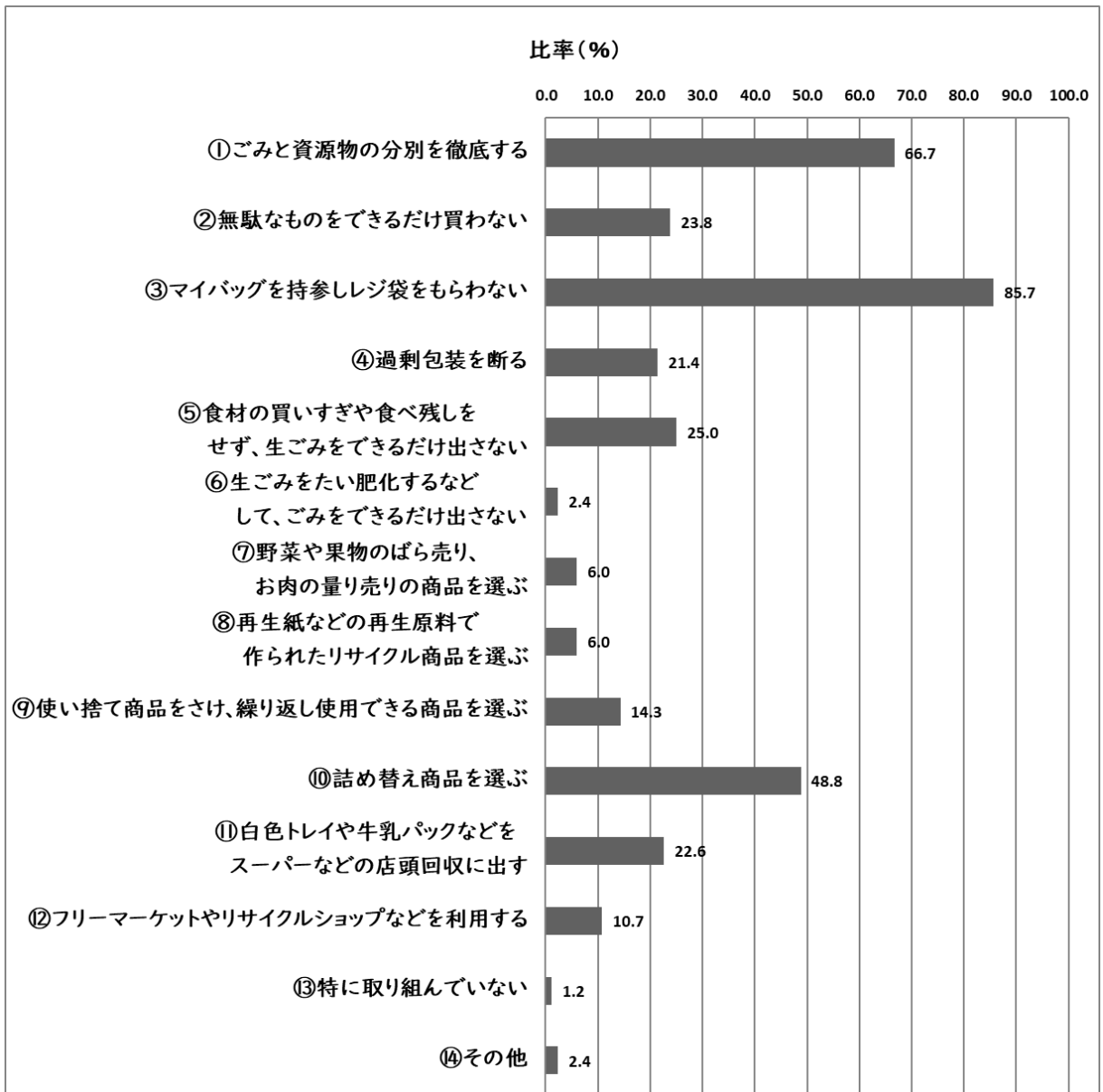
特に意識しているものを3つ選んでください。

「マイバッグを持参しレジ袋をもらわない 72件(85.7%)」が最も多く、「ごみと資源物の分別を徹底する 56件(66.7%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 84

回答件数(件) 283

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①ごみと資源物の分別を徹底する	56	66.7	2
②無駄なものをできるだけ買わない	20	23.8	5
③マイバッグを持参しレジ袋をもらわない	72	85.7	1
④過剰包装を断る	18	21.4	7
⑤食材の買いすぎや食べ残しをせず、生ごみをできるだけ出さない	21	25.0	4
⑥生ごみをたい肥化するなどして、ごみをできるだけ出さない	2	2.4	12
⑦野菜や果物のばら売り、お肉の量り売りの商品を選ぶ	5	6.0	10
⑧再生紙などの再生原料で作られたりサイクル商品を選ぶ	5	6.0	10
⑨使い捨て商品をさげ、繰り返し使用できる商品を選ぶ	12	14.3	8
⑩詰め替え商品を選ぶ	41	48.8	3
⑪白色トレイや牛乳パックなどをスーパーなどの店頭回収に出す	19	22.6	6
⑫フリーマーケットやリサイクルショップなどを利用する	9	10.7	9
⑬特に取り組んでいない	1	1.2	14
⑭その他	2	2.4	12



【⑭その他】

- 分別しやすい包装、簡易な包装の商品を選ぶ(包装やシールの材質が統一されているもの、分別に配慮された構造のもの(例:プラスチックのキャップを外しやすい瓶)、トレーを使わないパック売りの食肉)
- よく消費する商品はできるだけ大容量で購入し相対的に包装・容器のゴミを低減する
- 冷蔵庫の小型化
- スーパーで肉などは白色トレーを使わない物を選ぶ

問6 問5で「⑬特に取り組んでいない」を選んだ方は、その理由を1つ選んでください。

問5で「⑬特に取り組んでいない」と回答したのは 1 人であり、「ごみの減量やリサイクルに関心がないから」が回答となりました。

※問 5 で「⑬特に取り組んでいない」を選択したものののみ集計しています。

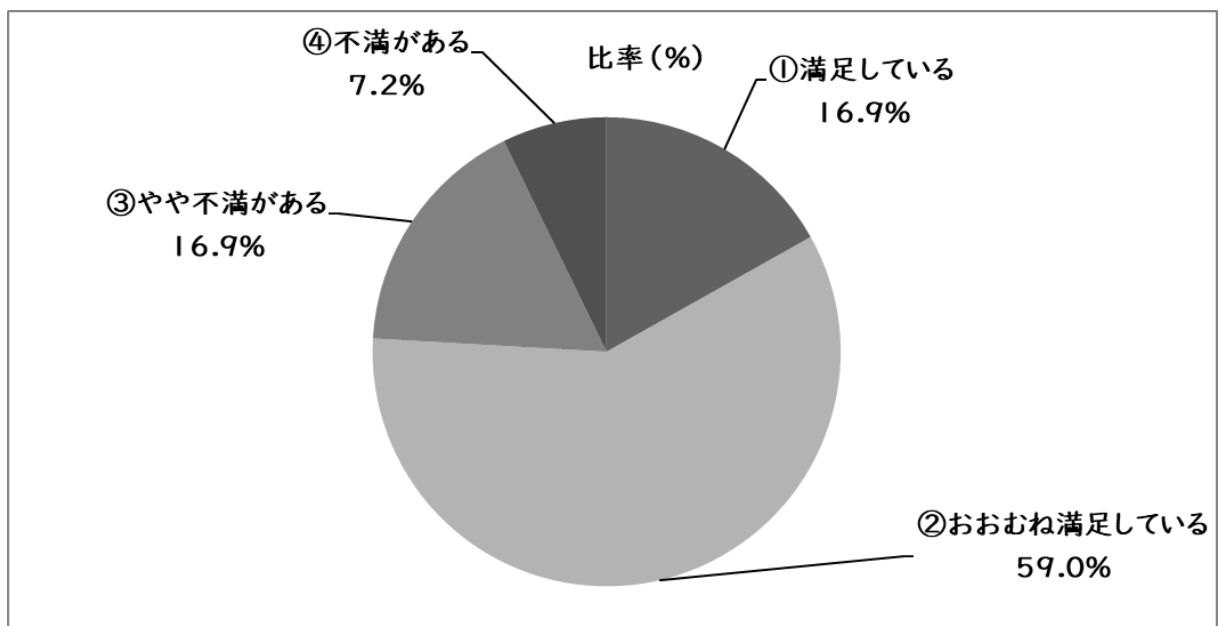
問7 お住まいの自治体の現在のごみや資源物の分別・収集方法について、どのように感じますか。

「おおむね満足している 49 件 (59.0%)」が最も多く、「満足している 14 件 (16.9%)」が次に多く、満足している傾向にある方は 75.9%となりました。

回答者数 (人) 83

回答件数 (件) 83

項目	回答数 (件)	比率 (%)	順位
①満足している	14	16.9	2
②おおむね満足している	49	59.0	1
③やや不満がある	14	16.9	2
④不満がある	6	7.2	4



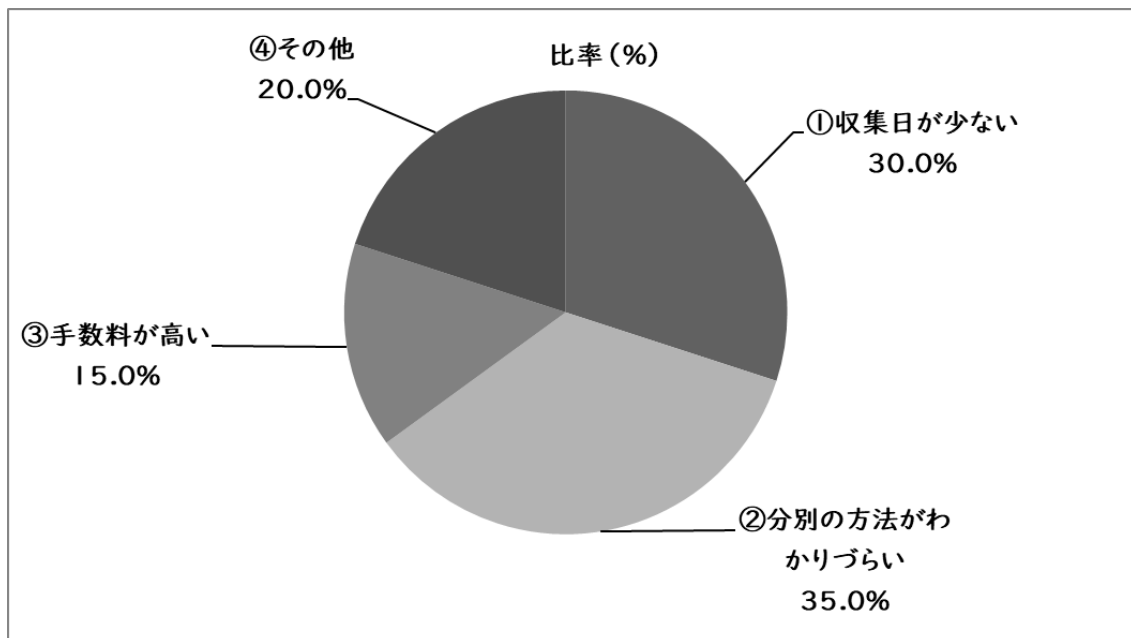
問8 問7で「③やや不満がある」「④不満がある」を選んだ方にお聞きします。
 不満な点を1つ選んでください。

「分別の方法がわかりづらい 7件 (35.0%)」が最も多く、「収集日が少ない 6件 (30.0%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 20

回答件数(件) 20

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①収集日が少ない	6	30.0	2
②分別の方法がわかりづらい	7	35.0	1
③手数料が高い	3	15.0	4
④その他	4	20.0	3



※問7で「③やや不満がある」「④不満がある」を選択したもののみ集計しています。

【④その他】

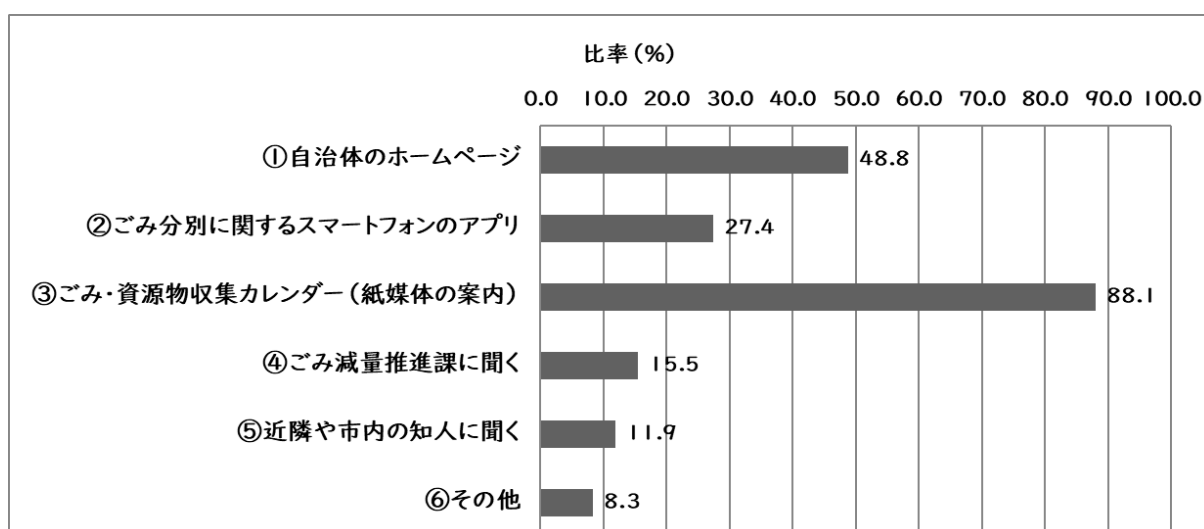
- 令和元年10月から戸別収集が始まったが、その理由の説明がなかった。単純に考えれば収集の手間とコスト増になるのではないか。収集が午後になる日もある。
- ゴミ袋が高い。
- 収集モレのときがあります。
- もっと細分化するべき。
- 有料であること。
- 不燃ごみの収集について、2週間に1回だけでは非常に大変。
 またプラスチック容器をどうしても汚れが落ちないものが多く、ごみが増えてしまう。
- 今まで何度かいっぱいになった不燃ごみを黄色い袋に入れて、回収していただく際に取り出していただくゴミ箱に入れておくと、その上に重ねた可燃ごみと一緒に回収されることがありました。外から見ても明らかに不燃ごみとわかるものなのに、未確認のままゴミ袋の色だけで回収されてしまうようで、せつかく分別しているのに残念です。

問9 ごみの分別や出し方等の情報をどのような方法で入手していますか。
 主な方法を3つ選んでください。

「ごみ・資源物収集カレンダー（紙媒体の案内） 74 件（88.1%）」が最も多く、「自治体のホームページ 41 件（48.8%）」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 84
 回答件数(件) 168

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①自治体のホームページ	41	48.8	2
②ごみ分別に関するスマートフォンのアプリ	23	27.4	3
③ごみ・資源物収集カレンダー（紙媒体の案内）	74	88.1	1
④ごみ減量推進課に聞く	13	15.5	4
⑤近隣や市内の知人に聞く	10	11.9	5
⑥その他	7	8.3	6



【⑥その他】

- 収集事業者に聞く。
- 「ごみ・資源物収集カレンダー」がポストに入っていないときがあり、不動産屋さんから分けてもらうのですが、その際にいろいろと相談しています。
- 容器や包装に表示されているマークを見る。
- マンションなどについて、共同のごみ集積所に分別方法が掲示してある。(4件)

問10 西東京市では、ごみの減量・資源化を促進するため、一部の家庭ごみを市の指定収集袋で収集しています。(家庭ごみ有料化)

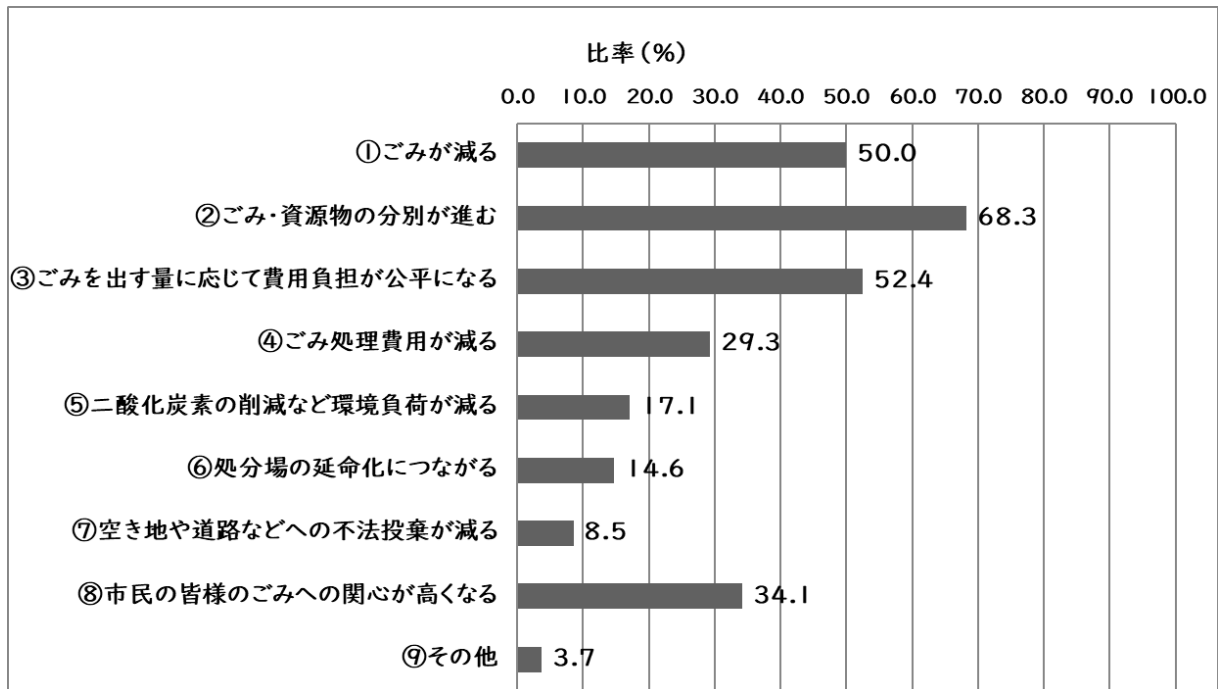
具体的には次のような効果・影響が挙げられますが、より重要だと思うものを3つ選んでください。

「ごみ・資源物の分別が進む 56 件(68.3%)」が最も多く、「ごみを出す量に応じて費用負担が公平になる 43 件(52.4%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 82

回答件数(件) 228

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①ごみが減る	41	50.0	3
②ごみ・資源物の分別が進む	56	68.3	1
③ごみを出す量に応じて費用負担が公平になる	43	52.4	2
④ごみ処理費用が減る	24	29.3	5
⑤二酸化炭素の削減など環境負荷が減る	14	17.1	6
⑥処分場の延命化につながる	12	14.6	7
⑦空き地や道路などへの不法投棄が減る	7	8.5	8
⑧市民の皆様のごみへの関心が高くなる	28	34.1	4
⑨その他	3	3.7	9



【⑨その他】

- ゴミ袋の無料化。
- どれも効果があるとはあまり感じない。
- コンビニ、パーキングエリアのごみ箱に家庭ごみの持ち込みが増加する。
- 他地域から来た不法投棄への抑止効果。

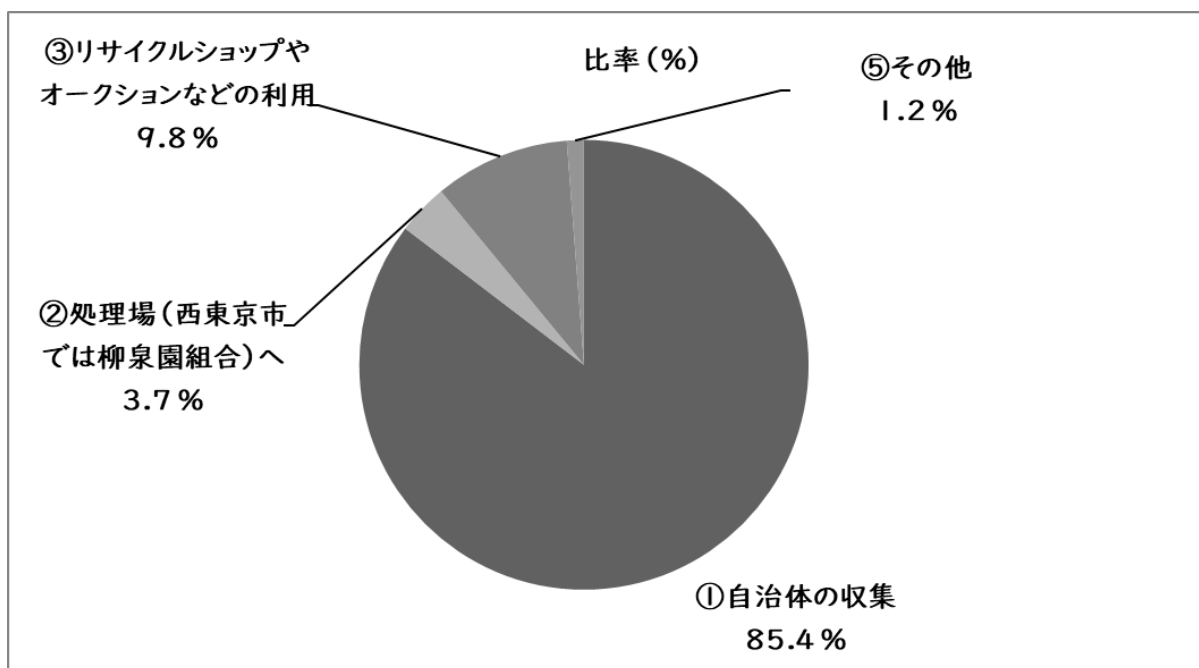
問11 粗大ごみの処分方法として、最も多く利用しているのはどれですか。

「自治体の収集 70 件(85.4%)」が最も多く、「リサイクルショップやオークションなどの利用 8 件(9.8%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人)82

回答件数(件)82

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①自治体の収集	70	85.4	1
②処理場(西東京市では柳泉園組合)へ	3	3.7	3
③リサイクルショップやオークションなどの利用	8	9.8	2
④シルバー人材センターのリサイクルショップの利用	0	0.0	5
⑤その他	1	1.2	4



【⑤その他】

- 粗大ごみを処分していない

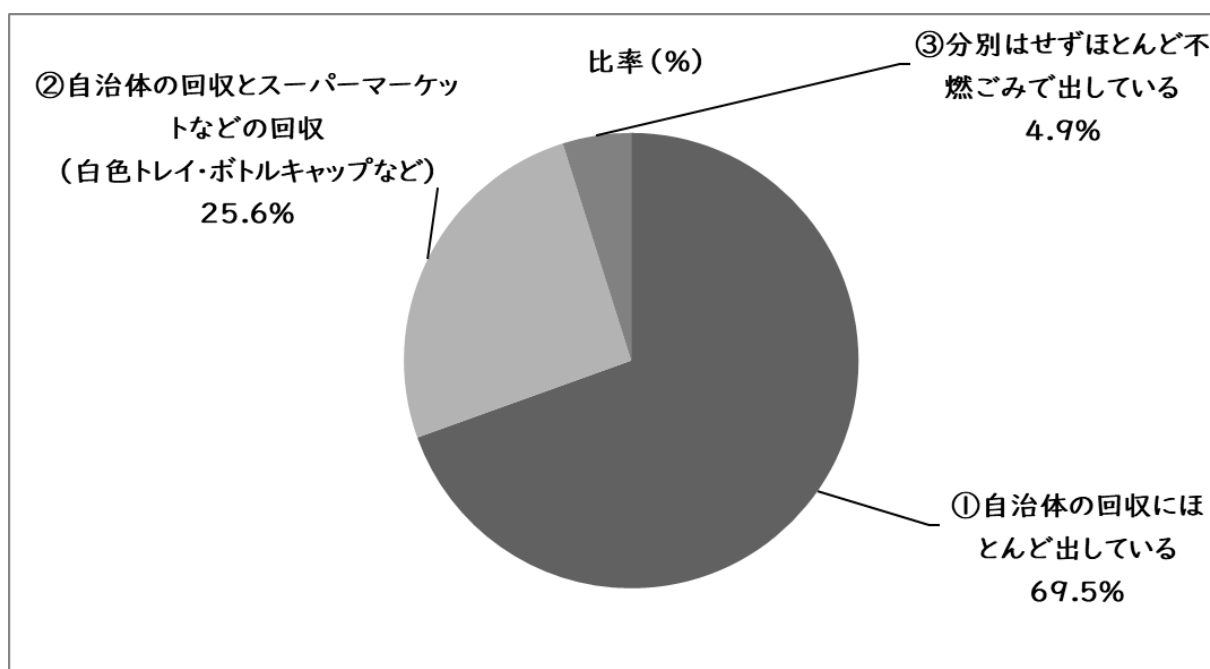
問12 プラスチック容器包装類の処分方法として、最も多く利用しているのはどれですか。

「自治体の回収にほとんど出している 57 件(69.5%)」が最も多く、「自治体の回収とスーパーマーケットなどの回収 21 件(25.6%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 82

回答件数(件) 82

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①自治体の回収にほとんど出している	57	69.5	1
②自治体の回収とスーパーマーケットなどの回収 (白色トレイ・ボトルキャップなど)	21	25.6	2
③分別はせずほとんど不燃ごみで出している	4	4.9	3
④その他	0	0.0	4



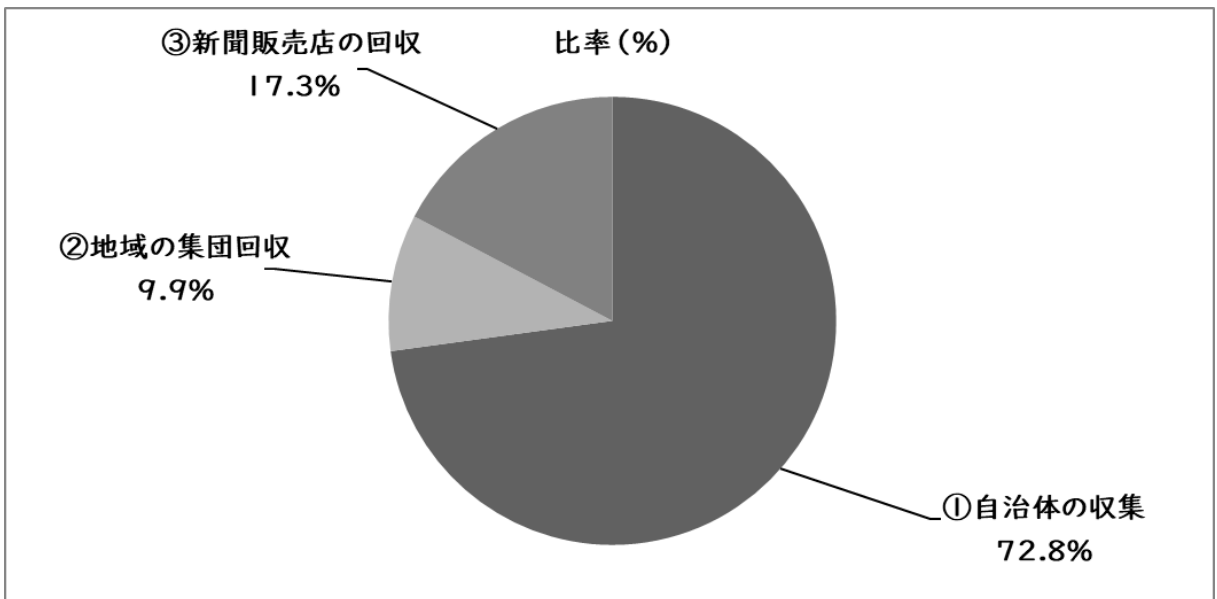
問13 新聞などの紙類の処分方法として、最も多く利用しているのはどれですか。

「自治体の収集 59 件(72.8%)」が最も多く、「新聞販売店の回収 14 件(17.3%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 81

回答件数(件) 81

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①自治体の収集	59	72.8	1
②地域の集団回収	8	9.9	3
③新聞販売店の回収	14	17.3	2
④その他	0	0.0	4



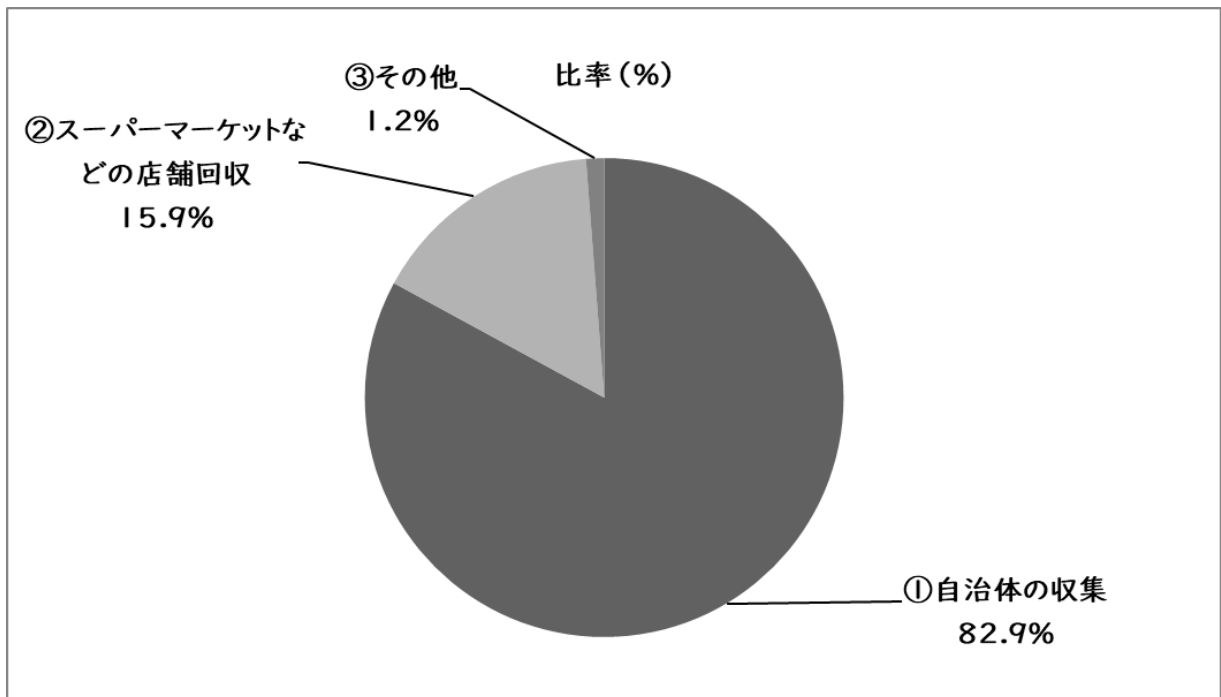
問14 ペットボトルの処分方法として、最も多く利用されているのはどれですか。

「自治体の収集 68 件(82.9%)」が最も多い結果となりました。

回答者数(人) 82

回答件数(件) 82

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①自治体の収集	68	82.9	1
②スーパーマーケットなどの店舗回収	13	15.9	2
③その他	1	1.2	3



【③その他】

- ゴミなどの容器として活用している。

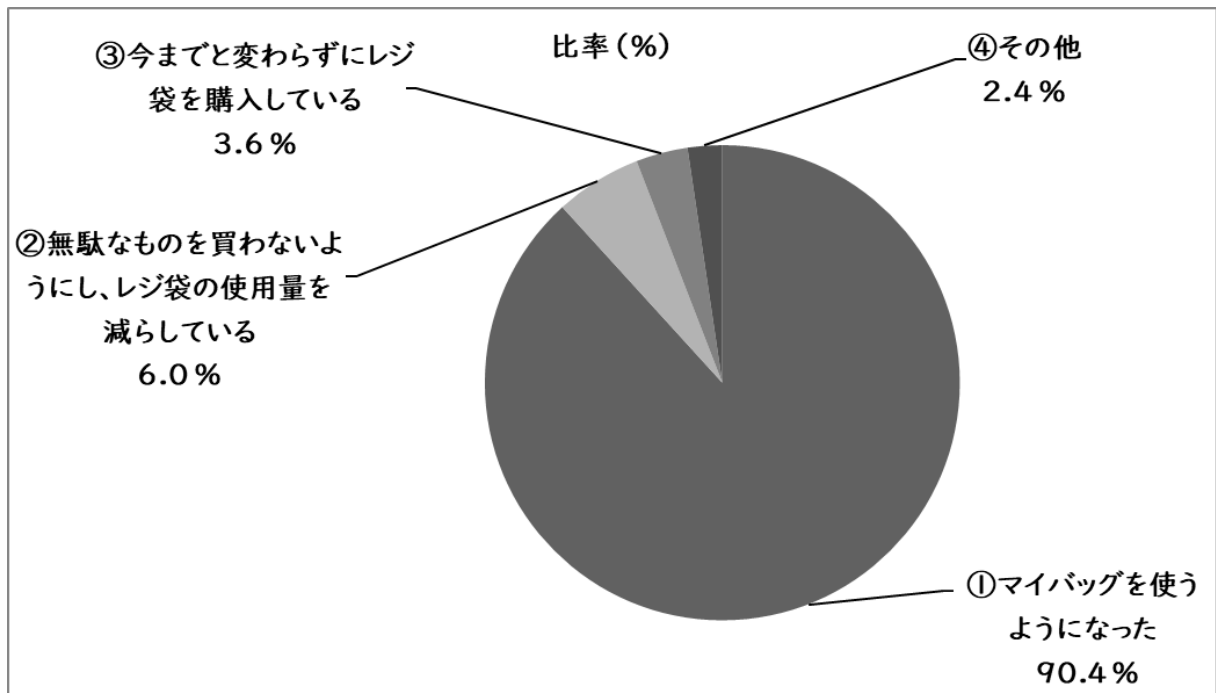
問15 レジ袋の有料化に伴い、買い物に変化はありましたか。

「マイバッグを使うようになった 75 件(90.4%)」が最も多く、「無駄なものを買わないようにし、レジ袋の使用量を減らしている 5 件(6.0%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 83

回答件数(件) 85

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①マイバッグを使うようになった	75	90.4	1
②無駄なものを買わないようにし、レジ袋の使用量を減らしている	5	6.0	2
③今までと変わらずにレジ袋を購入している	3	3.6	3
④その他	2	2.4	4



【④その他】

- 有料化以前よりマイバッグを使用している。(2件)

問16 日本では、1日1人当たり「茶碗1杯のご飯」分の食品ロスが出ており、より一層の工夫が必要な状況です。

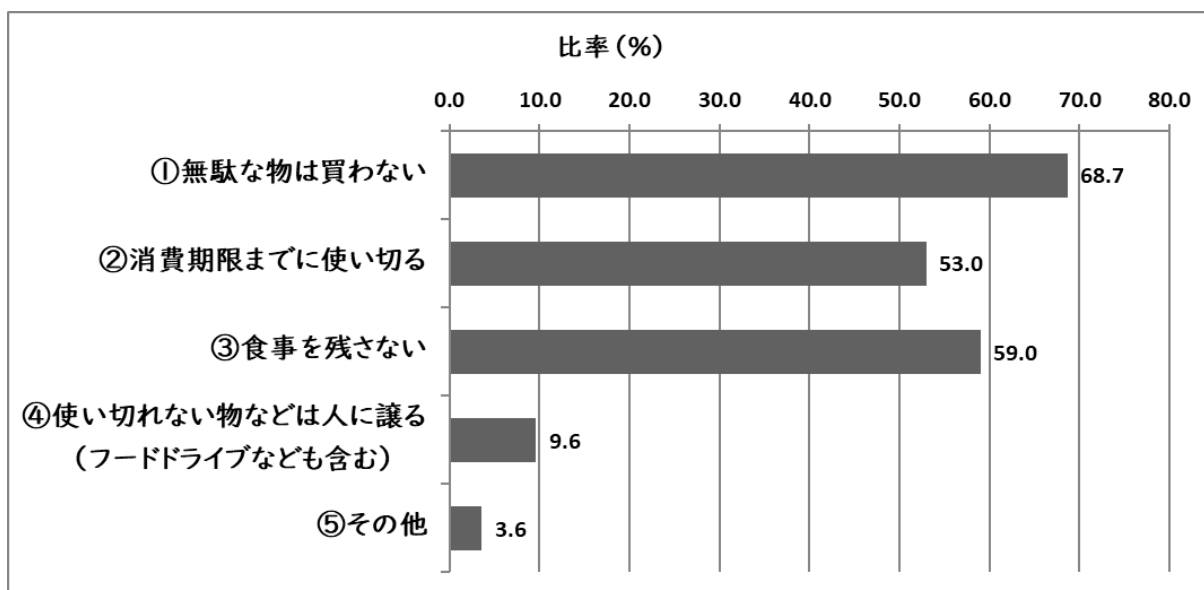
食品ロス(食品の廃棄)を無くすために、どのような工夫をしていますか。

「無駄な物は買わない 57件(68.7%)」が最も多く、「食事を残さない 49件(59.0%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 83

回答件数(件) 161

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①無駄な物は買わない	57	68.7	1
②消費期限までに使い切る	44	53.0	3
③食事を残さない	49	59.0	2
④使い切れない物などは人に譲る (フードドライブなども含む)	8	9.6	4
⑤その他	3	3.6	5



【⑤その他】

- 保存期間が長くなるような調理方法をするなどして、消費期限を延ばす。
- 小分けにして冷凍する。(3件)

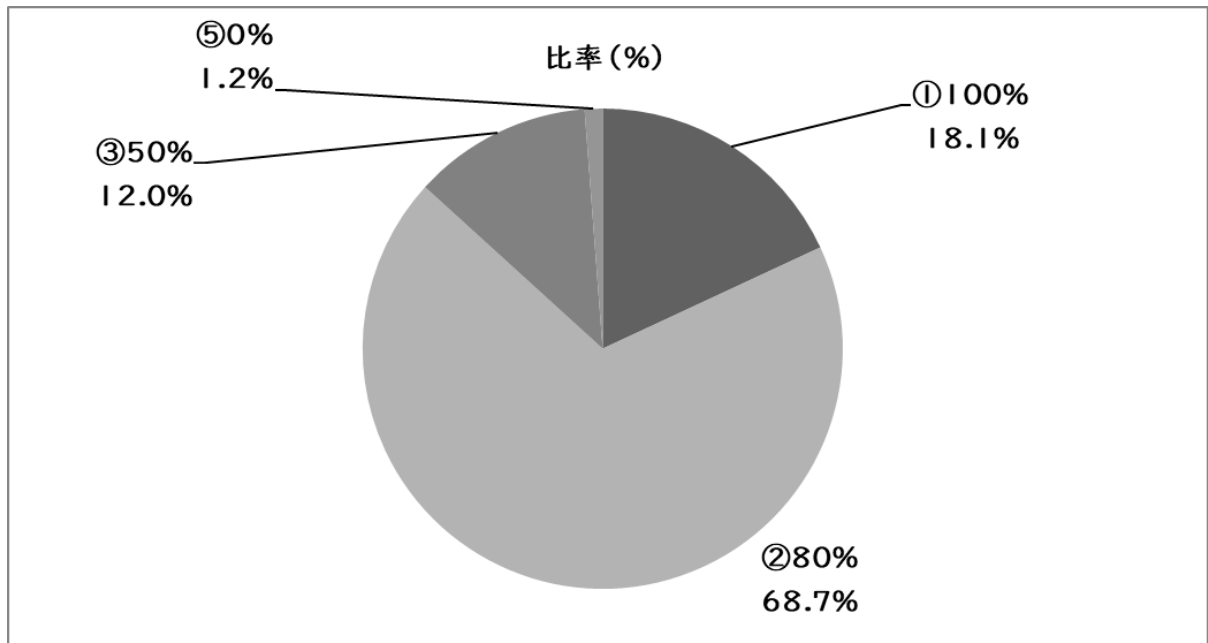
問17 ご自身でごみの分別はどの程度できていると思いますか。

「80% 57件(68.7%)」が最も多く、「100% 15件(18.1%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人)83

回答件数(件)83

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①100%	15	18.1	2
②80%	57	68.7	1
③50%	10	12.0	3
④30%	0	0.0	5
⑤0%	1	1.2	4



問18 その他、ご意見がありましたらご自由に記入ください。

【ごみの分別について】

- 分別例を索引出来れば良い。分別に迷うことがあります。
- 汚れのとれないトレー・レトルト類(パック)など可燃ゴミに出す事はどうなのでしょう。毎回50袋くらいゴミ袋が出ていますがそれらが入っている袋をかなり見かけます。
- 隣接する練馬区等では、ゴミ出しが西東京市に比べても楽だと言う。有料の袋は当初に比べて安くなったが、それでも23区のようにほとんどかからないということにはならず、親戚が来て、お弁当のプラゴミなどが多い時は、持ち帰ってくれるが、果たしてそれで良いのか疑問に感じる。
- 食品トレーを捨てるために洗う気にならず、水で流して不燃ごみとして捨てている。
- 店舗の回収ボックスは、皆が丁寧に洗っているとは思えず不衛生に感じるため使用しない。
- 燃えないゴミとプラスチックゴミの区別が分かりにくい。
- 西東京市では、プラスチック容器等はリサイクルされておらず、焼却されているのは本当ですか。本当であれば、自治体が回収しているものはリサイクルされるべき。
- 缶はつぶして出して良いのか、つぶさない方がよいのかわからない。

【ごみの収集について】

- びんの回収もスーパーとかでやって欲しい。
- このアンケートの選択肢を見ると、例えば白色トレーを「自治体の回収」と「スーパーマーケットでの回収」など色々ありますが、どれが一番いい回収方法なのでしょう？
- 発泡スチロールはかさが高いため、ペットボトルの様に無料回収して欲しい。
- 粗大ごみ回収は日にち指定でお願いしたい。(雨の日に回収に来てもらえないと、粗大ごみが濡れてまた家に戻すのが大変)
外に何日も置いておくと放火の原因になる。

【ごみの削減について】

- 家庭から出る食品ロスよりも、企業(コンビニ、食品販売等)の出す食品ロスの方が大きいと思うので、西東京市内の企業の出す食品ロスだけでも、企業側へ働きかける。
- 環境にやさしい物をたくさん紹介していくことが大切ではないかと考えています。
- 一家庭ゴミの有料化を行うことにより、家庭ゴミが商業施設や駅のゴミ箱に捨てられている為、ゴミの減量につながっているとは言いがたい。
- 修理ができない電気製品、修理をして使うという意識の低下。以前は汚れた物は掃除して使っていたが、安い値段で出回り買い換える方が楽だと思うようになった。
- ゴミ処理に関する技術的な課題の対応は個人並びに自治体では難しいと思います。やはり一人一人のゴミへの理解というのは非常に重要であり、幼少のころから、家庭・学校などでゴミについての知識学習を行う必要があるのではないのでしょうか。啓蒙活動だけでなく、知識の裏付けが必要とも思います。
- 食品トレーを燃えるゴミとしてすぐ捨てられるよう紙製のトレーなどにする。
- 容器を持参し、肉などを量り売りで買えるようにする。

【その他】

- 自治体の黄色ゴミ袋が結びにくい。取っ手になっているが、ほとんど取っ手として使用したことがないため、もう少しやわらかくてもいいのではと思う。
- 23区は無料で捨てられますし、武蔵野市はプラスチックは無料だと思います。リサイクル予定のプラスチックなのに西東京市は費用が高いと思います。
- ランドセルを海外寄付するための無料回収をお願いしたい

問19 令和元年10月以前より西東京市にお住まいの方のみお答えください。

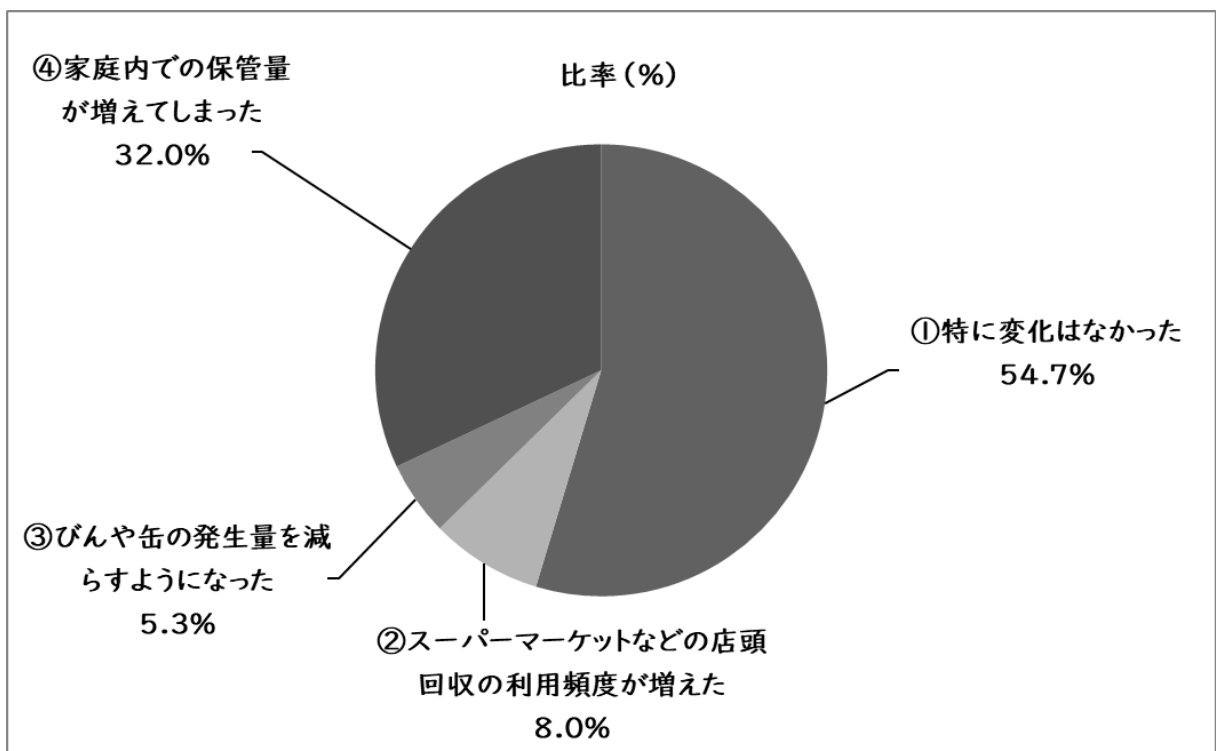
令和元年10月から、びんや缶の収集回数が少なくなりましたが、処分方法にどのような変化がありましたか。

「特に変化はなかった 41 件(54.7%)」が最も多く、「家庭内での保管量が増えてしまった 24 件(32.0%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人)75

回答件数(件)75

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①特に変化はなかった	41	54.7	1
②スーパーマーケットなどの店頭回収の利用頻度が増えた	6	8.0	3
③びんや缶の発生量を減らすようになった	4	5.3	4
④家庭内での保管量が増えてしまった	24	32.0	2
⑤その他	0	0.0	5



【③具体的な方法】

- 極力びんや缶づめを買わない。

問20 令和元年10月以前より西東京市にお住まいの方のみお答えください。

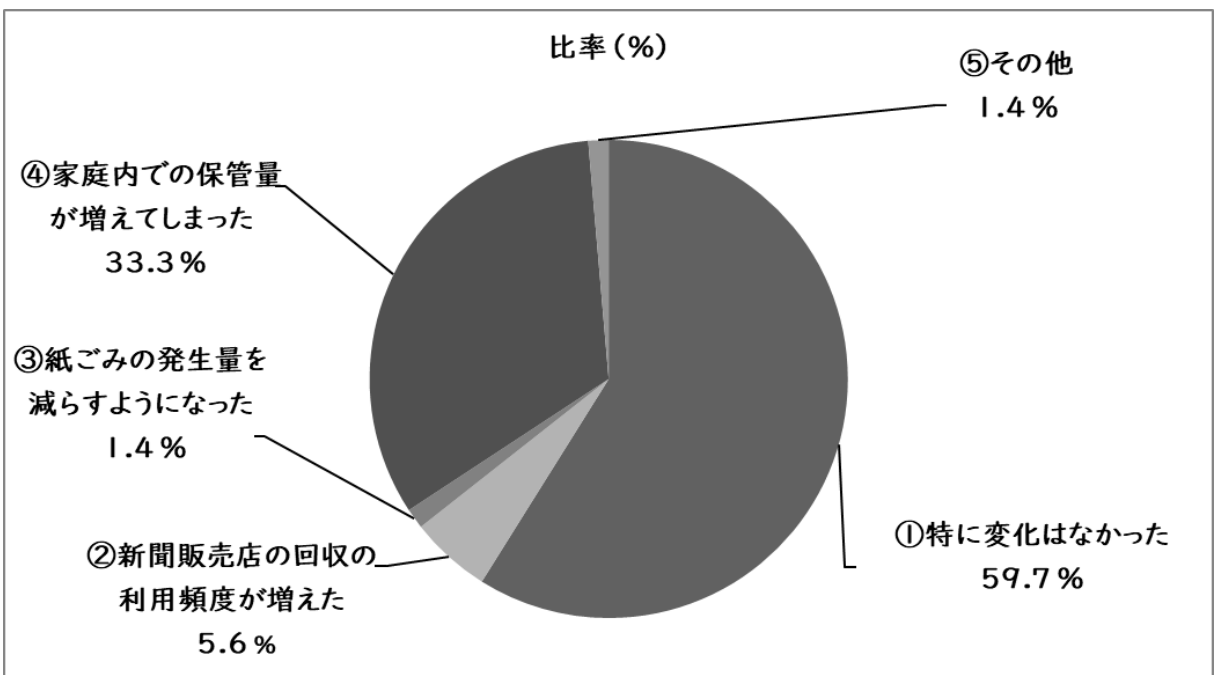
令和元年10月から、紙類の収集回数が少なくなりましたが、処分方法にどのような変化がありましたか。

「特に変化はなかった 43 件(59.7%)」が最も多く、「家庭内での保管量が増えてしまった 24 件(33.3%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人)72

回答件数(件)73

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①特に変化はなかった	43	59.7	1
②新聞販売店の回収の利用頻度が増えた	4	5.6	3
③紙ごみの発生量を減らすようになった	1	1.4	4
④家庭内での保管量が増えてしまった	24	33.3	2
⑤その他	1	1.4	4



【⑤その他】

- 自治体へ出す。
- コロナで通販で買うものが増えたためダンボールがすぐにとまってしまう。

問21 令和元年10月以前より西東京市にお住まいで、集積所収集から戸別収集になった方のみお答えください。

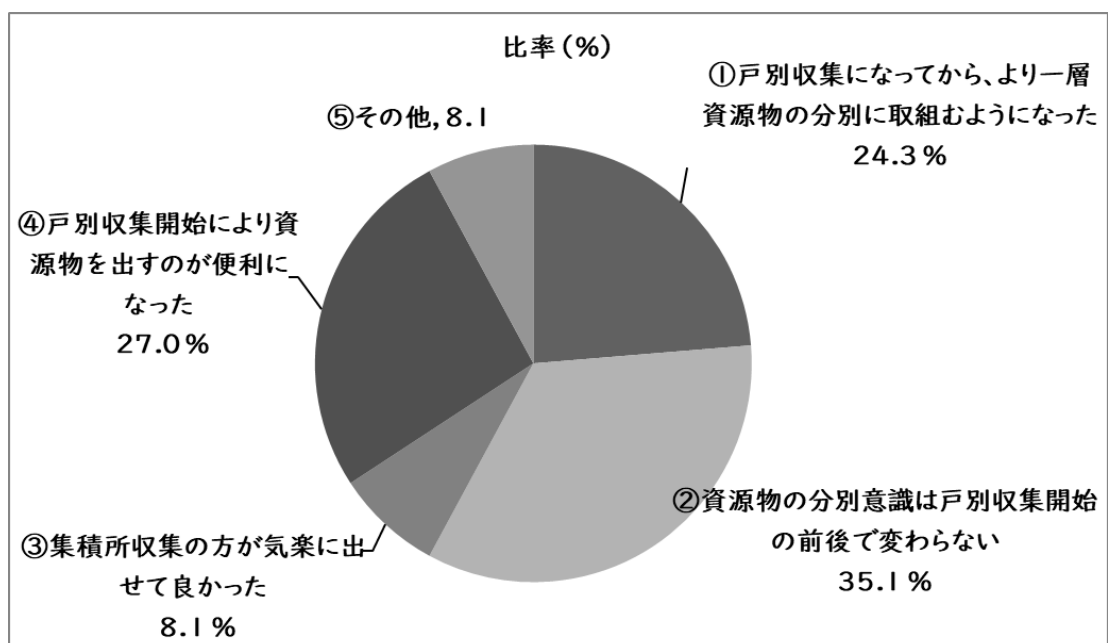
令和元年10月から実施された資源物戸別収集により、資源物の出し方はどう変わりましたか。

「資源物の分別意識は戸別収集開始の前後で変わらない 13 件(35.1%)」が最も多く、「戸別収集開始により資源物を出すのが便利になった 10 件(27.0%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 37

回答件数(件) 38

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①戸別収集になってから、より一層資源物の分別に取り組むようになった	9	24.3	3
②資源物の分別意識は戸別収集開始の前後で変わらない	13	35.1	1
③集積所収集の方が気楽に出せて良かった	3	8.1	4
④戸別収集開始により資源物を出すのが便利になった	10	27.0	2
⑤その他	3	8.1	4



※戸別収集の方の回答のみ集計しています。

【⑤その他】

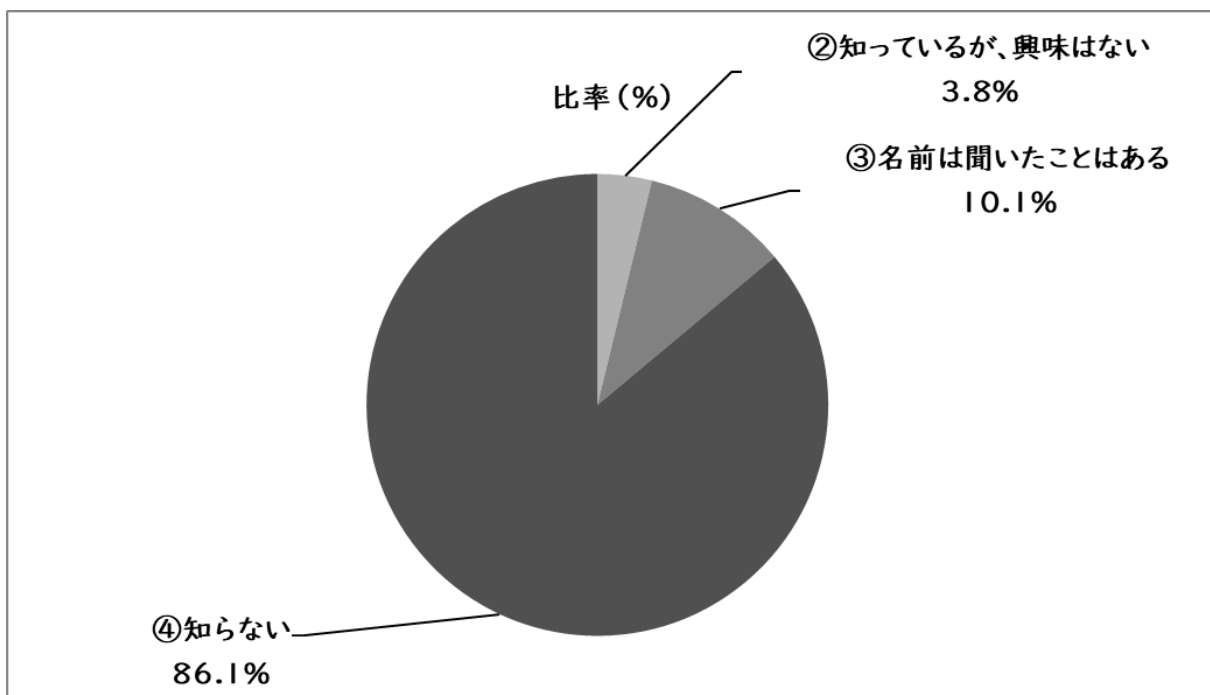
- 使われなくなった集積所に不法投棄をする人が非常に多く毎回困っています。たばこ、プラスチック容器、粗大ごみ、使用済みのエンジンオイル。網を放置してバリアを作ってもらっても投棄する人はあまり減りません。
- 集積所の頃は高級な参考書や本は紐を解いてまで盗んでいく人がいました。
- 令和元年10月から戸別収集が始まったが、その理由の説明がなかった。単純に考えれば収集の手間とコスト増になるのではないかと。収集が午後になる日もある。

問22 西東京市では、市内各地域でごみの減量の啓発・資源化の促進、ごみの出し方や分別指導など、市の行う施策にご協力いただく廃棄物減量等推進員を募集していますが、知っていますか。

「知らない 68 件(86.1%)」が最も多く、「名前は聞いたことはある 8 件(10.1%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 79
回答件数(件) 79

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①よく知っていて、興味がある	0	0.0	4
②知っているが、興味はない	3	3.8	3
③名前は聞いたことはある	8	10.1	2
④知らない	68	86.1	1



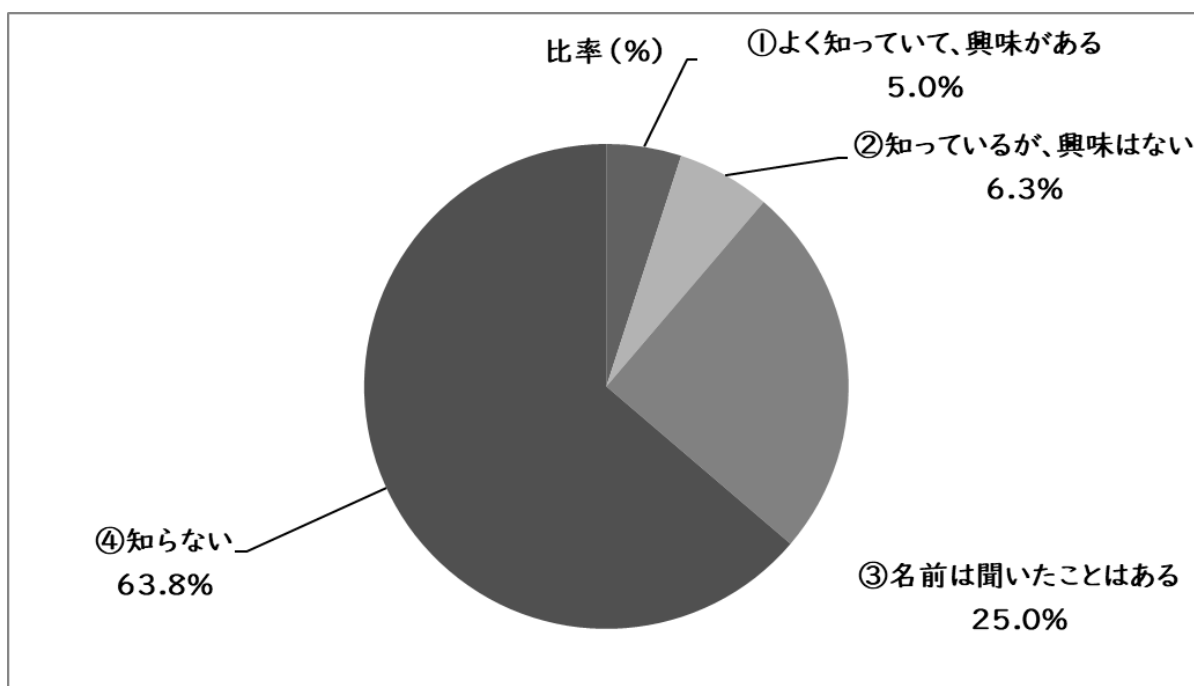
問23 西東京市では、街の美化の推進や市民の安全確保を図るための「環境美化活動」を行っており、おもにごみのポイ捨て防止やたばこの路上喫煙マナー向上のための取組を行っています。知っていますか。

「知らない 51 件(63.8%)」が最も多く、「名前は聞いたことはある 20 件(25.0%)」が次に多い結果となりました。

回答者数(人) 80

回答件数(件) 80

項目	回答数(件)	比率(%)	順位
①よく知っていて、興味がある	4	5.0	4
②知っているが、興味はない	5	6.3	3
③名前は聞いたことはある	20	25.0	2
④知らない	51	63.8	1



ごみの分別について

市民の皆様につきましては、日頃からごみの減量と資源化にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

市のごみ対策にご協力いただいた結果、ごみの減量が着実に進んでおります。

以下の点について特にご注意いただき、今後ともごみの分別にご協力をお願いいたします。



◆分別は、資源化を進めてごみを減量するために最も大切です。

皆様が一生懸命に分けていただいたことが無駄にならないよう、お手間をお掛けいたしますが、品目ごとの正しい分別にご協力をお願いいたします。

◆充電電池・スプレー缶・ライター等の分別にご注意を

充電電池（ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池）は、他のごみと混ぜてしまうと発火のトラブルになる可能性があります。

また、スプレー缶やライターも、正しく出していないと爆発する可能性があります。

ごみ収集やごみ処理施設の作業員がけがをしたり、施設が破損してごみ処理に支障が出ることはないよう、ご協力をお願いいたします。



西東京市